

(仮称) 荻窪駅周辺
回遊性向上アクションプラン

(案)

令和 2 (2020) 年 1 月

杉並区

目 次

1. 計画の背景と目的	1
2. 位置付け	2
3. 対象区域	3
4. 基本理念	4
5. 叶えたい具体的なまちのイメージとアクションプラン	5
6. 各アクションプランの実施ステップ	15
7. 今後に向けて	17

参考資料

(1) 地域資源	18
①すぎなみ景観ある区マップ	
・荻窪北・下井草編	
・荻窪南編	
②駅からお散歩マップ	
・おぎくぼ北エリア	
・おぎくぼ南エリア	
(2) 策定経緯	22
(3) 参考文献	23

1 計画の背景と目的

杉並区では、地元発意のまちの将来像である「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」の提案（平成27年）を受け、「荻窪駅周辺のグランドデザイン」として、平成29年に「荻窪駅周辺まちづくり方針」（以下、「まちづくり方針」という。）を策定しました。

荻窪には数多くの地域資源が集積しており、「まちづくり方針」では、「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」を目標の一つとしています。国史跡「荻外荘」（平成28年3月指定）を活用した史跡公園「(仮称) 荻外荘公園」の公開（令和6年予定）は、現在でも増加傾向の見られる来街者をさらに惹きつけることでしょう。

しかしながら、地域住民の方から、訪れる方が増えることに対して不安の声が聞かれたり、訪れる方からは「住宅地に点在した地域資源の場所がわかりづらい」とのご意見が寄せられている現状もあります。

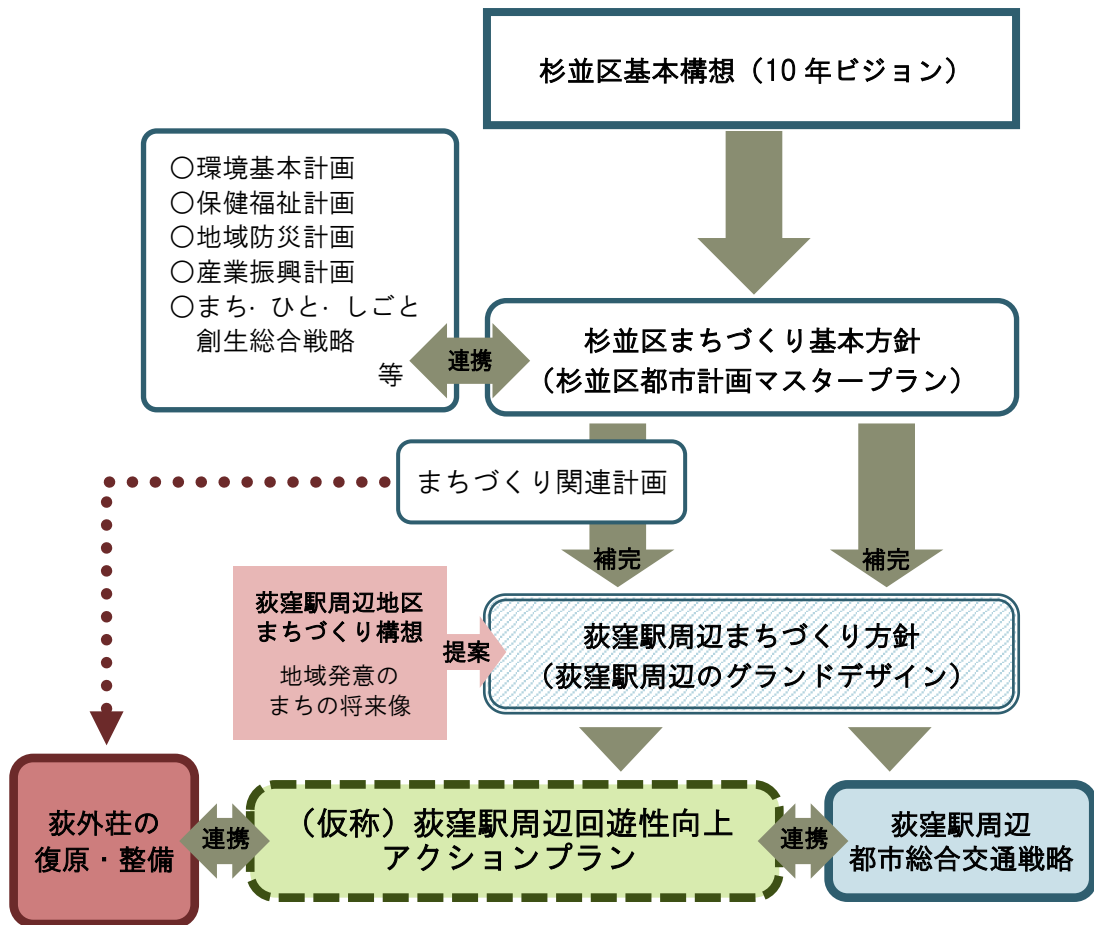
このまちの現状への対応を、(仮称) 荻外荘公園の公開を控えた今、荻窪のまちにお住まいの方、行政、事業者が一緒になって考え、取り組みたい、という思いから、本アクションプランの検討が始まりました。

本アクションプランは、農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ち等、荻窪のまちの魅力を様々な方に知ってもらうことでその価値を更に向上させ、荻窪にお住まいの方からはますます愛される存在とすること、まちを訪れる方からは「また訪れてみたい」と思っただけのようにすること、すなわち、「まちづくり方針」で掲げた「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現のため、このまちを舞台としてさまざまな形で活動する人が楽しく取り組める具体的なメニューを共有することを目的として策定します。

2 位置付け

本アクションプランは「杉並区基本構想（10年ビジョン）（平成24年）」、「杉並区まちづくり基本方針（平成25年）」を上位計画とし、「まちづくり方針」の回遊性の向上に関するまちづくりの取組を定めるものとします。

また、交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりを目指す「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略（平成31年）」や、荻外荘の復原・整備に関連する施策との連携を図っていきます。



3 対象区域

本アクションプランでは、「まちづくり方針対象区域」のうち、JR線路の南側エリアを主たる対象としますが、アクションプランの内容によっては、「まちづくり方針対象区域」全体に広げて取り組みます。



凡例	本アクションプランの主たる対象区域	まちづくり方針対象区域	町丁目境界
----	-------------------	-------------	-------

4

基本理念

このアクションプランでは、まちの魅力を将来に渡って味わい楽しんでいただくために、まちの魅力を維持し更に向上させることに加え、地域全体で来街者を気持ちよくお迎えする「地元力」とも呼べるような力を充実させること、そして、地域住民の皆さまはもちろん、来街者の方にも楽しくまち歩きをしていただけることを目指し、「まちの魅力の維持発展」「地元力の充実」「回遊性の向上」の3つを基本理念に掲げます。

